

「ぴったりの言葉、見つけよう」を読んで日記を書こう！

教科書二十八、二十九ページを読んで、

日記を書いてみよう。

①心が動いたことを思い出してみよう。

②その時の心の様子を、「うれしかった」「悲しかった」などの言葉を使わずに言い表してみよう。

③五、六文ぐらいの短い文章で書こう。

④書き方のきまり

① 日付と曜日、天気は一行目に書く。

② 題名は二行目に三マスあけて書く。

③ 段落の頭の文字は、一マス下げる。

④ 習った漢字は使う。

二書き出し文を工夫しよう。

① 時間から書く。休み時間に

② やったことから書く。席がえで

③ 会話から書く。（お母さん、どうしたの。」）

④ 音から書く。（カシヤーン）

⑤ ふうけいから書く。雨がふった。水たまりに

⑥ 人の様子から書き始める。兎はいつもより

早く帰ってきた。なんだか元気がないよう

だ。）

次の中から選んで書いてみよう！



三 表現のくふう

うれしかった」悲しかった」という言葉を使わずに心の様子を書く。

例

うれしかった

思わず笑顔でうなずいた。

・もうだいじょうぶ」と言いながら、ボールをにぎ

りしめた。

花だんの花もにこにこしている。

悲しかった

知らぬ間に、大粒のなみだが、ぼくの目からあふれていた。

例

四月十三日 水 晴れ

○○○新しいクラス

○長い長い休みだった。二か月ぶりの学校は、ふあんでときどきしていた。げたばこで考えていると後ろから友達が、

『おはよう！ ひさしぶりだね。』

と声をかけてくれた。すると、心がすっとしてきんちようしていた気持ち少し落ち着いた。

『おはよう。元気だった？』

と答えて二人で一緒に新しい教室へ向かった。

○これからの学校生活がとても楽しみになった。